

全自動式効果音発生装置

Eハンター

取扱説明書



(有)茨城電子技研

〒300-0023 茨城県土浦市沖宿町726
TEL029(828)0711(代) FAX029(828)2177
URL <http://www4.ocn.ne.jp/~baden7/>

はじめに・・・

このたびは、全自動式効果音発生装置「Eハンター」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。この装置は、熊、鹿、イノシシなどの獣類およびカラスやスズメ、鴨などの鳥類による農作物や家畜への被害を低減させるために当社が開発したものです。ご利用に際しては、本書を良くご理解の上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

本装置の特徴

- ・バッテリーに接続するだけで特別な操作を必要とせずに全自動で作動し、一定間隔(標準3分)で2発の猟銃の発射音に似た効果音を発生させます。
- ・内蔵の光センサーにより、夜間のみ作動も可能です。
- ・音量の調整が可能のために騒音等の苦情にもすみやかに対応が可能です。
- ・省電力型のため、お手持ちの古いバッテリーでも作動します。
- ・別売のキットにより発報間隔を変更することができます。

警告/注意

- ・防雨型ですが、内部をぬらしたりしないでください。
- ・バッテリーの近くでは火気を使用しないでください。
- ・装置を開けての内部の改造等はいしないでください。

製品の保証

通常のご使用において製品に不具合が発生した場合は、お買い上げ後6ヶ月間は無料で修理をいたします。その後は、有償修理とさせていただきます。ただし、製品の受渡しに関する運賃送料等は、保証期間中もお客様のご負担となりますのでご了承ください。

お願い

本装置は、鳥獣類による農作物や家畜などへの被害を少しでも低減させるために開発した機器であり、残念ながら被害を完全になくすことは不可能です。よって本装置を使用した上でお客様が被った被害について当社がそれを補償する類のものではありません。

本装置の使用方法

- 1 本体上部のボルト3本を外し、その位置に同梱のトランペットスピーカーをやや下向きに取り付けてください。スピーカーを離れた位置に設置するときは、このボルトを外さないでください。
- 2 スピーカーから出ているケーブル先端のプラグを本体下部右側の出力ジャックに挿入してください。
- 3 本体下部から出ている赤黒の電源ケーブルを十分に充電されたバッテリーに接続してください。赤が「+」、黒(赤に細く黒い線が入っている場合もあります)が「-」です。逆接続防止回路が入っていますが、注意してください。
<この時、洗濯バサミで挟み込むと簡単です>
- 4 本体左側面の動作切替スイッチを上げると24時間の連続動作となります。夜間のみ作動させたいときはこのスイッチを下げておいてください。
- 5 本体内部基板の音量調整つまみを回して音量の調整をしてください。

点検方法

点検等は特に必要ありませんが、バッテリーの残量チェックや本体側面の動作切替スイッチ上の光センサーの汚れに注意してください。バッテリーの持続時間は、バッテリーの状態や日照時間、発報間隔等で大幅に変化します。月に一回程度点検されることをおすすめします。

動作間隔の変更について

本装置の発報間隔は、タイマー変更用抵抗キット(別売 ¥100 -)による内部部品、R44の交換によって下記のように変更することが可能です。詳しくは、キットに添付の説明書をご覧ください。

抵抗名	RA	RB	RC	RD	RE	RF	RG	RH	RI
抵抗値	510k	750k	1M	1.5M	2M	3M	3.9M	5.1M	10M
間隔	30秒	45秒	60秒	90秒	2分	3分	4分	5分	10分

RF型が標準となります。また、使用する抵抗により $\pm 15\%$ 程度の誤差が生じます。

製品の設置方法

- ・木板等に取り付ける場合は、背面の隠しボルト3本を外して木ねじなどで固定してください。角材や足場パイプ等に取り付ける場合は、背面両側にあるスリット穴を利用して針金や電柱用バンドでしっかりと固定してください。
- ・バッテリーに雨水が掛からないように注意してください。また、寒冷地では、バッテリーの保温に努めてください。
- ・スピーカーの出力には指向性があります。住宅を避ける方向で設置してください。

製品仕様

主要構成部品	4IC, 11TR, 2PUT, 1PQ, 他
動作開始照度	4lx 以下
標準動作間隔	180秒 $\pm 15\%$
低周波出力	最大8W
製品寸法	380H \times 155W \times 160D
製品重量	約880g

本製品は、予告なしに改良されることがあります。